

大分県高等学校体育連盟主催大会等に関する支出基準

令和4年5月6日

【支出対象者】

- 1 高体連関係者（高等学校に在籍する教員等）の区分
 - （1）「引率者」とは、所属校から旅費（交通費・旅行諸費・日当等）の措置をされる者とする。
ただし「監督・コーチ等」として活動する外部指導者は除く。
 - （2）「競技役員」とは生徒引率を伴わず、大会事務局から派遣依頼文書により、出張または職専免で参加する人員をいう。※高体連より職専免を出張扱いで処理していただけるよう働きかける。
 - （3）「競技役員」に対する旅費及び日当等は、高体連専門部が負担する。
 - （4）「競技役員」として大会参加する者は、所属校から旅費等を受け取れないこととする。
 - （5）「引率者」として大会参加する者は、競技役員として日当等を受け取れないこととする。
- 2 補助員（会場での運営補助生徒）
 - （1）「補助員」とは、大会運営を補助する生徒であり、基本的に会場校生徒とする。
 - （2）会場校生徒で不足する場合、大会事務局からの派遣依頼文書を発出し、補助員を招集する。
 - （3）学校外施設を活用する場合、大会事務局からの派遣依頼文書を発出し、補助員を招集する。
 - （4）「補助員」とは、その会場で一日補助活動に専念する者をいい、自チームと行動を共にし、試合後に得点掲示等を補助する者を補助員とは認められない。

【支出項目及び金額】

- 1 交通費
 - （1）1キロ25円の県旅費規定に準ずる。引率者に大会事務局から支給できない。
 - （2）競技役員に関しては、起点から会場の往復で計算する。原則高速利用料金は支給されない。
 - （3）補助員に関しては、在籍校から会場の往復で計算。原則会場校生徒には支給されない。
- 2 日当（賃金として扱う）
 - （1）競技役員には、1日1,000円以内とし、半日は半額とする。（半日：4時間以内）
 - （2）引率者及び補助員には、教育活動中のため、日当は支給できない。
 - （3）審判料については、1日1,000円以内とし、半日は半額とする。（半日：4時間以内）
 - （4）協会・連盟等を通じて、教職員以外の者へ競技役員・審判員へ依頼する場合、協会・連盟規程で支払えるが、大会の趣旨をご理解いただき、日当額を協議すること。
- 3 昼食（弁当代）
 - （1）税込み600円以内とする。
 - （2）昼食は、競技役員・補助員のみとし、引率者には支給されない。
 - （3）原則として昼食代の現金支給は行わない。
- 4 宿泊費・高速道路利用料等
 - （1）原則として支給できない。（宿泊や高速利用が不要な者に（近距離な）競技役員依頼をする）
 - （2）競技団体役職や審判資格等により依頼する場合、高速道路利用料は支払える。（要領収）
 - （3）特別な事情がある場合は、事前に高体連事務局と相談して判断する。
- 5 その他
 - （1）上記については、高体連関係者（高等学校に在籍する教員）を対象にした支出基準とする。